

ひろば大代

NO.388

大代まちづくり
センター

H23.11.23

秋の大江高山登山

美味しかったコーヒー

まちづくりセンター



今回の登山は、一般参加者と父兄と教職員の有志・小学生全員参加の総勢三七名の楽しい登山となりました。

子供たちは元気いっぱい、駆け上がるように疲れも見せず、登っています。ですが、われわれ少々、年を重ねた者たちは、ふうふう言いながら「どうしよう？登れるかな？」と思いつつも休みしながら登りました。

先に登っていた方たちがお弁当も食べずに待っていて下さり、途中子供たちが迎えに下りて来てくれて、荷物を持ったり、押してくれたり、やっと頂上へ。感謝！感謝！です。

連合会長の佐藤さんが持参されたガスで沸かした熱いコーヒーは、今までの人生の中で一番美味しいコーヒーで

した。皆さん有難うございました。



みんな笑顔でハイポーズ！

子ども達からの

一口感想

○2度めの登山です。頂上についたらきもちがよかったです。1年 せな

○つかれたけど頂上まで行けてうれしかったです。 2年 ゆな
○はじめて登ってつかれたけど、頂上のけしきがすばらしかったです。 3年 ゆういちろう

○つかれたけど、登ってみれば気持ちよかったです。 3年 りか

○4度目の登山だったけど、おりの時ジャンプしながら帰ったからいつもよりつかれました。みんなと登れてよかったです。 4年 れんり

○初めて登って大変でしたが、頂上に登って景色がきれいで、とても楽しかったです。 6年 ゆり

第27回東京石見高山会

総会に参加して

下市 田辺幸子



暑からず寒からず、コート一つなしの恵まれた二泊三日の秋日の旅であった。今回の目的は総会出席と久方振りに二人の孫の顔が見られることだった。

十一月十二日、大家を発ち、出雲か

ら羽田空港に飛び、出迎えの息子に引き回されて世田谷の自宅へ孫娘の音楽に合わせ、歌う踊る、腰の振り、顔の表情、疲れを知らぬ若い命に私の方がお手上げ、子供のエネルギー一体どこから生まれるのだろうか。長男は自若泰然。

翌十三日の総会には親子孫三人で懐かしい島根イン青山へ。

出席者は在京の方三十数名、関西高山会より山根会長、松江から招待は田中興亜さんとご家族、大代から木村市議ご夫妻、藤井先生私の四名、総勢四十余名、それも大半の方が昨年ご出席の方々、懐かしい一年振りの再会に手を取り合って喜んだ。

十二時開会、松野さんの司会進行で今田会長、大代高山会会長木村市議の挨拶、過疎高齢化のふる里大代、且つ大代の今年度限りで高山小に合併閉校の大代小のこれからの方向性は……。如何に明るい未来につなぐか問題山積。

関西の山根会長の挨拶、春の大会のお礼、大代佐藤連合自治会長の大代近況のメッセージ発表。

役員改選で、今田会長は六年間の退

任を全うされ、新しく松本健一氏にバトンタッチとなる。

続いてテーブルを囲んで懇親会。

乾杯の音頭。私の横には九十六歳の岡本京子さん、老いを知らず元気なのに驚く。テーブルを回って思い出話やふる里を共有する者だけに通じる昔話。

お楽しみ、田中興亜さんの歌の集いの前に、私、俄かに発奮。「大代小学校校歌」を大声で熱唱し、後になって恥ずかしさを覚えたが大代小学校さようなら！寂しい限りである。

次、田中興亜さんの歌の集い、りんごの歌など我々世代お馴染みの歌の数々さすが日本一の歌声にみんなは引き込まれ口ずさんだ。

私は四時の航空便に乗るべく二時半に失礼させて頂いた。

私も傘寿、これが最後の出席かと思われるが、渡剛局長「来年は私が連れて行ってあげる」と。どうか夢に終わらぬように。

資料によると（平成2年）には大代から二十名の参加があった。高齢化したとは言え、なんとか裾が広げられないものかと思う。

秋季全国火災

予防運動の実施

大代消防団分団長 坂本静雄



町民の皆様方、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃皆様方には消防活動に対し、ご理解ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて暦の上では立冬、暖炉の恋しい季節になってきました。そして恒例の秋季全国火災予防運動が、11月9日より11月15日までの7日間、全国一斉に実施されました。

『消したはず、決めつけないで、もう一度』を統一標語に、火災予防思想の一層の普及と、火災による痛ましい死者の撲滅を目指し、安全で住みよい町づくりの実現のため実施されるものです。

大田市においても、今年度23件の火災が発生しています。その内、たき火が原因による火災が一番多く発生しています。たき火をされる時は、消えるまで目を離さない、バケツ等で水を用意するなどして、乾燥時及び強風時は

出来るだけ、たき火をしないように注
意をお願いします。

また大代町には防災組織があります。
消防・地域住民の皆様と、火災及び、
その他災害に強い町づくり活動を推進
し、皆様方の大切な生命、財産そして
美しい郷土を守りたいものです。

消防団として使命達成のため、なお
一層の注意喚起に努めてまいりますの
でご協力をお願いします。

ホームページを見て感激!

千葉県 大場隆男(弓久出身)



「ひろば大代」、毎月楽しみに拝読
させていただき有難うございます。
遠く離れた我が故郷の情報を知るこ
とが出来たのも、関係者皆様の並々な
らぬ日頃のご努力・ご苦労があつての
ことと感謝申し上げます。

昨年5月に帰省した際、大江高山へ
登山した時の写真を送付させていただ
きます。

生まれて初めての登山でしたが「大
江高山雲を呼ぶ・・・」の大代小学校
校歌から早50年。



故郷の象徴、大江高山の途中や山頂
の眺望は素晴らしく一生忘れ得ぬもの
になりました。

当日は天気も快晴でなく、いまいち
の写り具合ですが一枚でも掲載してい
ただければ幸いです。

今後とも故郷情報の発信、何卒宜し
くお願い申し上げます。

「作ってみませんか?」

お正月用しめ縄作り講習会



日時 12月7日(水)

午前9時30分〜

場所 まちづくりセンター

愛情込めた

エコジョー米栽培

(農) やまべ代表 井谷英美



平成十二年より始まった中山間地域
直接支払制度に加入し、任意の飯谷集
落機械利用組合で畦ぬり機を購入、そ
の後共同で籾の共同乾燥、調整を始め
ました。

五年経過し、直払制度もワンステッ
プ上位を目指せとの指導もあり、飯谷
集落の皆様のご協力で一集落一法人の
「農事組合法人やまべ」を組合員三十
二名で設立しました。それも昭和五十
四年〜五十九年にかけて、圃場整備が出
来ていたので、法人も設立する事が出
来たと思います。先人の尽力に感謝し
ます。

法人設立後、農地、水、環境、保全、
対策向上協議会に加入し、環境にやさ
しいエコジョー米栽培に取り組んでい
ます。高山からのきれいな湧水と堆肥
を入れ、チッソ肥料二十%減、農薬五
十%減で安全、安心愛情を込めた美味
しいお米コシヒカリを作っています。

先日、東京で「やまべのお米」を食べたが「とても美味しく、どんな所で作られているのか産地を見たい」と、全然知らない川崎市のお米屋さんが訪ねて来られました。

飯谷の農地は標高二六〇〜三〇〇m。高山から湧き出るきれいで豊富な水で作る小さな棚田を見て、「大変ですね。それだけ手をかけて作られるお米だから美味しいんですね。」と言って帰られました。一年一作の稲作りです。

国・県・市からの助成やまたJAの指導も受け、やっと土台が出来たところです。立地条件には恵まれない飯谷で作業には手間と時間がかかります。生まれ育った飯谷の農地を今、私達がしておかなければならない事、出来る事を集落の皆様の協力を頂きながら、次の世代に引き継ぐ為に一生懸命頑張っています。

俳句

あすなる句会

柿田 横手いちえ

露天湯の庭に石露盛りなり
友誘ひ大江高山秋登山



八反田 森 信子
寝つかれず思ひは千々に夜長かな
人も古い家も古りたり冬に入る
椿 花田時子

爽やかや人前結婚式次第

無住寺の枯葉の中に埋もれり

下市 今田文子

秋祭えびす舞ふ子のしなやかに

菊の花愛でて回覧届けおく

川上 岩田律枝

この山と冬越す生活さだめとも

重き空雑木林の枯葉鳴る

本郷 和田貴和子

祭壇に新酒の香り新社

台風や雨戸にかぎかけ夜をすごす

椿 柿丸寿枝

昼暗き古刹こまつの蹲踞つくばい枯葉浮く

仕合せは今生こいまきること大根煮る

12月行事予定



▼4日(日) 婦人会支部長会

▼7日(水) お正月用しめ縄作り

▼9日(金) クリスマス会

※まちづくりセンターにて午後7時から行いますので三百円位のプレゼントを一つ持参して下さい。
どなたでも参加できます。

▼11日(日) 福祉弁当

▼20日(火) さくらんぼ教室

▼23日(金) 連合自治会

▼28日(水) まちセン午前中まで

▼28日(水) 大代消防団年末警戒

お知らせ

松江市 田中興亜様から
まちづくりセンターに御寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

編集後記



官報に「あとがき」がないのはおかしい。6・7年前に彼が言ったことから何を書こうかと、毎月編集委員の誰かを悩ませるようになった編集後記。
言いだしっぺの彼が鬼籍にはいつてもう一年が経ちます。人懐っこいあの笑顔を思い出しながら、時の流れを感じています。「忙しい」が口癖だったけど、今はどうしてるのかな。☆な☆